

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

9条改憲・大軍拡・大増税を許さず、憲法を生かした平和な社会の実現をめざそう

「過大・過密」「教室不足」「教員不足」解消にむけた新校建設運動を大きく飛躍させよう！

みんなで作る分会活動を推進し組織拡大を大きくすすめよう！

2024年度大障教定期大会

大障教は5月11日、2024年度定期大会を開催し、執行部から経過報告および運動方針案、2023年度決算報告および2024年度予算案が提案されたのち、討論には8分会4専門部の12名が発言しました。討論を受けての採決で、すべての執行部提案が圧倒的多数の賛成で決定されました。大会には、大阪教職員組合をはじめ全教障害児教育部など各組織から激励のメッセージが多数寄せられました。

子どもたちの未来のために、「平和」を求める声をあげよう

「平和」を求める声をあげよう

大会あいさつの中で西面友史委員長は、ロシアのウクライナ侵略やイスラエルのガザ侵攻、岸田政権による大軍拡をおしすすめめる情勢にふれ、「障害児教育は平和でなく



あいさつする西面委員長

本が批准して30年となる子どもの権利条約にふれ、「大障教の運動に確信をもち、仲間とつながって、子どもたちのために教育条件整備を大きく前にすすめよう」と訴えました。

憲法と子どもの権利条約に立脚した障害児教育の実現を

荒谷美里書記長は、経過報告と運動方針案の提案とともに、当面の取り組みとして、①府立支援学校の「過大・過密」「教室不足」「教員不足」の解消にむけて、府立支援学

職場のとりくみの交流討論では12名が発言

青年部の井上代議員(枚方)は、「『学び・つながり・交流する』を基軸に青年部活動を進めたい」と発言。富田林の西岡代議員は、「若い先生たちと『楽しいことを』と企画、組合加入も」と職場づくりを報告。佐野の北坂代議員は、ガザの問題にふれ、「今も世界では、子どもたちが犠牲になっている、一緒に平和の波を起こそう」と訴えました。寄宿舎教員部の白木代議員(北摂)は、「交渉などで粘り強く訴え続けることで改善」と組合活動の成果を報告。事務職員部の古川代議員(交野)は、少数職種の高齢化、「共に職場づくりを」、女性部の近友代議員(中央聴覚)は、要求前進の報告とさらに働きやすい環境にと訴えました。だいせん聴覚の世森代議員は、聴覚障害のある教員が安心して働ける環境づくりのためねばり強く交渉したこと、刀根山の橋岡代議員は、人事相談など職場の要求にこたえる八分活動について報告



声高らかに力強い団結がんばろう

告。泉南の藤田代議員は、新たに分会長を引き継いだ意気込み、組合への思いを発言。学校増設運動については、寝屋川のベテランの山岡代議員、若手の矢野代議員で発言し、継続した保護者との署名のとりくみや学校の実態と子どもへの思いを報告。八尾の岩崎代議員は、分会での署名宣伝行動や保護者との共同の大切さ、四條畷の本枝代議員からは、四條畷の本校化決定について「みんなのねがいが形になった」と、それぞれ今後の運動への決意も込めて述べました。すべての議案が可決され、団結がんばろうで締めくくりました。

校の人権侵害ともいえる実態を知らせ、請願署名運動を軸に支援学校増設を求める世論と運動を広げよう。②「平和、いのち、くらしを壊し、市民に負担を強いる、軍拡、増税に反対する請願署名」とのとりくみを強め、9条改憲を許さない職場世論をつくらう。③アンケート活動などで職場の声を集めるとりくみ、職場の中に「つどい」場をつくるとりくみ

など、全教職員に見える八分活動を進めよう。④すべての組合員が力をあわせ大障教組織の1割拡大を必ず実現しよう、と提起しました。

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/> Eメールアドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

書記局のさすけ

ある中堅の小学校教員がため息交じりに言っていた。「勤務時間内に終えられない業務量ではない」と。同じ学年に配属された初任教員の援助も重なり、4月の時間外勤務時間はゆうに80時間を越えた。公立学校の教員の異常な長時間労働の重大な要因の一つは、教員の労働時間と賃金を定めている「給特法」の仕組みにある。それは、原則超過勤務を認めず、調整額4%を支給するとしているため、教員の勤務が「定額働かせ放題」になっているからだ。昨年5月、20人の教育研究者有志が呼びかけ人となり、「教員に残業代を支給する」「学校の業務量に見合った教職員を配置する」などを要求し、全国的な署名運動が取り組まれ、話題を呼んだ。中教審・質の高い教員の確保特別部会では、教員の「時間外手当の支給」が議論の焦点となった。5月13日、およそ1年間の議論をへて、同特別部会が「審議のまとめ」を公表した。その内容は、「給料月額額の4%相当が支給される教職調整額を10%に引き上げる」などで、「残業代の支給」を否定した。全日本教職員組合は、「いっそうの長時間労働を強いることにならねない」と厳しく批判している。2023年度の学校現場の精神疾患による病欠休職者は全国で6000人を超え、過半数となった。20代の若い先生が学校現場に急増し、中途退職もあつた。公教育は崩壊寸前と言っても過言ではない。さきの中堅教師は、「ゆとりがほしい」と痛切に訴えている。現場の要求は、「教職員定数の抜本的改善、教育予算増、時間外勤務手当の支給」だ。職場から声をあげていこう。拙稿を掲げコラムの結びとする。労働課をただす我が声震へくる 病みて去りにし同僚思へば (S)

大障教定期大会 発言ダイジェスト (その1)

少しでも働く環境がよくなるようにがんばっていききたい

青年部 井上代議員



青年部では「学び・つながり・交流する」を基軸に学習会だけでなく交流企画も行ない、学校の垣根を越えてつながれるように活動を進めています。

加えて青年部では、学校現場でしんどい思いをしている

後も現場で悩む先生方の声を伝え、少しでも働く環境がよくなるようにがんばっていききたいです。

今年度は青年部常任委員の人数が増え、ますます活気づいています。さらに青年部の活動を広めていきたいと思っています。青年教職員を決してひとりで放っておかず、目の前の子どもたちのためにがんばる仲間としてつながるように、青年部としてもとりくみたいと思います。一緒に青年部活動を盛り上げていきましょう。

教員が足りない!! いろんな方と話をして要求を上げたい

富田林支援学校分会 西岡代議員

現在担任をしている学年は、春休みに2人の転入が確定したのに、学年の担任数は前年度より1名減。病休代替の講師が配置されず、さらに1名減。本当に教員が足りない。

援学校だけでなく、教員の全体数を増やさないといけない、そういう思いを教職員全体で

話をする機会がありました。非常に責任感を持って仕事を

すが、とにかくお互いの考えなど、昨年度から話を重ねて来ました。「この人に組合に入ってほしいなあ」と思っていたので、うれしかったです。

何かあった時にどうなるんやろうか、何かあってからやると動き出すんやろうか、などと考えながら、神経をすり減らし、身体を酷使用する1ヶ月が過ぎました。今のところ偶然にも重大案件は起きていません

も一つは、先月組員に入ってくれたある同僚の話です。普段からその方とはいろんな

そんな性格の持ち主です。組合というものは、こんな方を潰させないためにあるのではないかと、と日々思いながら接しています。労働環境、現在の教育のおかしなところを愚痴

なにか何なのか分からないで



青年部のとりくみ

楽しく、学んで、交流を!



2024年度がスタートし、忙しく過ぎる中で、少しホッと一息つけるようなリフレッシュできる企画をと思い、GWに青年部で「ハーベストの丘」に行くことにしました。カメラで写真撮影をすることを趣味にしている人もいて、せっかくだから景色の良い所をと思って選んだのが「ハーベストの丘」でした。

当日は雲一つないような晴天で、外出するにはもってこいの天気でした。1日かけて園内をゆっくりと散策しながら、ヤギや羊などの動物との触れ合いや、バラやネモフィラなどの花々を見て回りました! 残念ながらチューリップは季節が終わっていましたが、バラがちらほらと咲き始めていて、青色のネモフィラは見ごろを迎えていました。そして、アーチェリーも初体験! 最初は的を射るのが難しかったですが、夢中になるにつれて上達し、的をねらって矢を飛ばせるように…。 「ハーベストの丘」を堪能した後は、車で大阪市内まで戻り夕食交流会をしました! 学校の様子や新年度始まって不安なことなども共有、相談できとても有意義な時間となりました。

また今回も嬉しいことに、はじめての未組の方にも来ていただき、とても楽しい時間を過ごせました。体も心もリフレッシュできた、あつという間の1日でした!

大障教青年部では、今年度も「楽しく、学んで、交流を!」を合言葉に、青年のみなさんが職場の垣根を越えてつながれるよう取り組みを企画していきます。「こんなこと学んでみたい!」「交流してみたい!」ぜひ、声をお寄せいただき、いっしょに活動に参加してみませんか。(青年部長 奥 正行)

